

2016 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2018 年度分)

<p>団体名</p>	<p>西宮市甲子園二・三番町自治会 防犯・防災部 西宮応急手当グループ</p>		
 <p>2018. 6. 16 神原公民館活動推進委員会地域住民</p>	 <p>2018. 10. 10 摂陽東郵便局 局長会</p>		
 <p>2018. 9. 22 高須公民館活動推進委員会地域住民</p>	 <p>2019. 1. 26 北夙川小学校生徒 越木岩防災訓練</p>		
<p>『いざという時、あなたは愛する家族、友人を救えますか?』をキャッチフレーズに活動を始め、12年が経ちました。11,098名の方達と学び、講習回数は507回。この中の5人の方が実際に6人の人命救助をされました。講習会を受けて下さり、6人もの命を救ってくださった!なんて素晴らしいボランティアに携われ、少しでもお役に立てたと思うと本当に幸せです。自分自身体調が悪い、膝が痛い、疲れるなんて言っている場合じゃないような気がします。後、どのくらい人生が残っているかわかりませんが、最後の時に後悔が残らないよう、日々精進を重ね地域の方達の為に尽くしたいと思います。しんどい人生ではなく、心豊かに優しくのびのびと楽しみながら・・・と80歳の決心です。</p> <p>普通救命講習では、今後の講習会をより良くさせて頂くためアンケートをお願いしています。その結果「見るのとやるのでは大違い」「体験ができて良かった」と多くの方が言われます。西宮応急手当グループでは前ふり救急車が出るまでにのお話をし、救命処置の手順の展示を見てもらい、どうしてそのようにするのか、しなければならぬのかを詳しく説明し、何よりも実技に重点を置いています。説明も聞くだけではなく見て覚えてもらうよう色々の写真や模型などを使います。また、講習会の開催前に必ず依頼者に会い要望や年齢層を聞き、会場を見て土足ならシートを敷いてもらいジョイントマットを用意する。参加者、指導員の身体膝を守ることに気を配っています。</p> <p>講習の依頼では、10年目になる公民館、スポーツクラブ21、学校、マンション、自治会とくり返し毎年依頼をくださるところが殆どです。又、学校、幼稚園では、先生方が資格を取得して下さり、ご自身で講習会をして下さるようになった処もあり、独り立ちして下さる事が、私たちの一番の希望でありうれしいことです。「皆様方で講習会されませんか?大丈夫!出来ますよ!」と出来るだけ自分たちで開催されるように勧めています。最近では、「ここで人が倒れた。さあ助けてあげましょう!どうする?」と、とっさに動くことが出来るよう実践訓練を取り入れ、止血、気道異物除去、搬送等色々のシナリオで、置いてある道具を使って助ける。意識が戻れば回復体位にする。二人、三人法もその時行います。受講者が自分の練習が済むとじっと座って見ているのではなく、それぞれが動いて考える講習をしています。「とっさの時もあわてずできそうです」「自信をもって何かできそう」「これなら実践に役立ちそうだ」「すぐ使えそう」と、とても好評です。しかし救命入門コースを希望されることが多く、色々体験して頂きたくても時間が足りないのが悩みです。憶えても勇気をもって実際に役立たなければと思います。これからも心をこめて丁寧に分かりやすく、楽しい講習を続けたいと思います。</p>			